



第6回かながわ教育学講座

令和3年10月24日、第6回かながわ教育学講座が開催されました。授業力の向上をテーマとした今回の講座では、各校種・教科の教員である、指導主事による模範授業、授業づくりのポイントや学習指導案（単元・題材と指導の計画）作成についての講義が行われました。

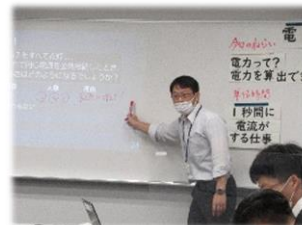
模範授業や講義では、単元や本時の授業の目標として「子どもたちに身に付けさせたい力（資質・能力）」を明確にすることや、目標の達成状況を見取るための「評価規準」「評価の場面」の設定など、第4回教育学講座で理論的に学んだ「いま求められる授業」の具体的な内容について、実演を通して学びました。

模範授業や講義のあとは、受講者自身が自分の希望する校種・教科等の授業について、指導案作成の演習を行いました。単元（題材）を通して子どもたちに身に付けさせたい資質・能力について考えたり、「子どもたちが主体的に学びに向かうためにはどのような学習活動を取り入れると良いのか」と頭を悩ませたりしながら、授業づくりに取り組む姿が見られました。

12月に行われる第9回の教育学講座では、受講者一人ひとりが作成した学習指導案（単元・題材と指導の計画）に基づいた模擬授業を行います。神奈川県が求める「わかりやすい授業を実践する教員」を目指して、創意工夫を凝らした授業ができることを期待しています。



Q. それぞれ何の授業をしているのでしょうか？



答え...上段：左から養護教諭、特別支援学校、工業、下段：左から理科、音楽、国語

受講者の感想

○何を学ぶか？どのように学ばせるのか？をより具体的に考えていき、興味、関心をどうやって惹かせるのかを日々の生活の中でネタを見つけていきたいと思いました。

○指導案作成を実際に取り組み、どのようにしたら子どもが引きつけられ興味をもつことができるのかを考えるのが楽しいと感じました。その中で、子どもの主体性や対話的な活動を大切にしたいと感じました。

○模範授業を見て、「私はあんな上手にできるようになるのかな...。」と不安になりましたが、「私はまだこれから成長していけるんだ！」というやる気にも繋がったので良かったです。